

関西広域連合の
新商品調達制度

オーエスエス初成約

大阪府にLED納入へ

関西広域連合は27日、新事業に挑戦する地元企業の販路開拓を支援する「新商品調達認定制度」で、大阪府が建設資材製造販売のオーエスエス(姫路市)から発光ダイ

オード(LED)蛍光灯を調達したと発表した。同制度の初実績で同社を含め2件が成約した。同制度は防災や省エネ

関連の新商品が対象で、広域連合の参加自治体や関連団体が随意契約で調達に努める。5月、兵庫県内の6社を含む30社を認定した。

オーエスエスの商品はLED蛍光灯「サザンライトテック」。従来の蛍光灯に比べ約半分の消費電力で、自然な明るさが特徴という。大阪府立芦原

高等職業技術専門学校
校舎照明用に納入が決ま

った。

同社は、4年前からLED蛍光灯や遮熱塗料など環境関連の資材開発に取り組み、大岡由弥子社長は「節電意識の高まりで引き合いが増えている。今後も売り上げを伸

ばしたい」と話した。

もう1件は、物流保管機器製造のニッコー(大阪府)の折りたたみ式スチールラックで、和歌山県警への納入が決まった。

(内田尚典)